

『市民対話集会』会議録

日 時：平成29年7月10日(月) 午後7時～午後8時10分

場 所：竜王3区公会堂

参加者：本竜王地区自治会合同会議（竜王一～四区）の区民46人

傍聴者：1名（市議会議員）

対応者：保坂市長、飯室副市長

テーマ担当者：三井総務部長、長谷川防災危機管理課長、広瀬防災減災係長

事務局：内藤企画政策部長、大木総合政策係長、藤井

対話テーマ 「自主防災組織の立ち上げと消防団各地区の連携について」

対 話

○当番区長あいさつ

今年のテーマは「自主防災組織の立ち上げと消防団各地区の連携について」となります。近年全国各地で大規模な地震が発生しています。7月に入りましても、北海道、熊本、福島で震度5、6の地震が多く発生しています。また、7月の3日、4日と台風が九州に上陸し、大変な豪雨となりました。そういったことから、皆様も防災への意識をもっていると思います。今後は各区の連携を図りながら、万が一の時にはスムーズに自主防災組織が立ち上がりますよう、日頃から心がけていくことが大切だと考えています。

○市長あいさつ

- ・お忙しい中、毎年市民対話集会をしていただき感謝申し上げます。
- ・先日は九州の大分、福岡が水害にあった。被害にあわれた方々が早急に救われることを願っている。
- ・甲斐市でいうと、釜無川には監視カメラがあり、水位がどの程度上がればどう危険なのかという通報を国土交通省の所長から市長に連絡する手筈となっている。
- ・土手に咲いている黄色い花があるが、この花は「オオキンケイギク」といい、特定外来生物である。これが繁殖すると、在来の野草の生育場所を奪い、在来種が枯れてしまうため、ボランティアによる除草作業を行う予定でいる。

○自主防災組織の立ち上げと消防団各地区の連携について

防災減災係長、スライド等資料により説明

○質疑等

問 自主防災組織の初動の判断基準は何か。明確な判断基準を教えてください。

答 初動の判断基準について、災害の程度にもよるが、震度がいくつ以上であれば自主防災組織の初動を開始する、というような具体的な判断基準はありません。

問 指定避難所の備蓄倉庫について、どの程度備蓄されているのか、備蓄品の内容を教えてください。

答 本竜王地区の指定避難所だと竜王北中学校の防災倉庫に市が備蓄をしており、備蓄食料と備品など指定避難所を運営する上で必要となる資材が備蓄されています。

問 消防団、自治会、各区の連携方法について、詳しく教えてください。デジタル無線を消防団が利用しているが、各自治会に2台ほど用意すれば、電話等が使用出来なくなった場合でも、常に連携を図ることができるのではないかと。

導入となった場合、費用や補助などを市から受けることができるのか。

答 消防団が利用している無線機を自治会が利用することは出来ません。自主防災組織と連絡をとる場合、自治会で無線機を独自に用意していただく必要がありますが、防災資機材で補助は出来ます。

問 自主防災組織に消防団員が入っても、実際の災害時には、消防団としての活動により召集がかかり、自主防災組織に入っても意味が無いのではないかと。

答 消防団員に対しては、発災時には地元での活動を優先的に実施してもらい、その後、消防団として広域的な活動を行ってもらう想定です。発災直後は、まず消防団の方にご協力をいただく形で問題ないのではないかと考えています。

問 消火栓の耐久力について、どの程度の震度まで耐えられるのか、また大きな地震が発生し、断水してしまった場合に消火栓は機能するのか。

答 大きな地震が発生した場合は、消火栓が機能しなくなる可能性があります。

消火栓が使えなくなった場合に備え、バケツリレー等が出来るよう河川の位置などを把握しておく必要があります。

問 地震発生時は水道水が断水してしまうことが想定されるが、現在井戸を掘っているところもある。地震により電気が止まった場合、使えなくなってしまい、飲み水の確保ができなくなる。市で発電機を用意することは可能か。

答 市では地震発生時の井戸水を飲み水として利用するのではなく、備蓄している飲料水を利用する想定でいます。

そのため、市として各井戸に発電機を用意する想定はありません。

問 南アルプス市（旧甲西町）では地下水の水質検査をし、緊急時に飲み水として利用しても問題無い認定をもらっていると聞いている。

甲斐市には緊急時に飲み水として利用しても問題ない地下水は無いのか。

答 甲斐市には緊急時に飲み水として利用しても問題ない地下水は現在ありません。

普段は安全でも、災害が起きた時の安全性が担保されないため、地下水を飲み水として利用する予定はありません。

問 南アルプス市に状況を確認して研究する価値があると思う。

答 了解しました。

（後日、南アルプス市の防災担当に確認したところ、個人の敷地にある井戸の把握はしているが、災害時に飲料する事は市では薦めていないとの回答）

問 現状では、地域防災リーダー養成講習を受講した方の有効活用がされていないのではないかと。良いアイデアがあれば教えていただきたい。

答 現在地域防災リーダー養成講習を開始して2年目ということもあり、知識を持った方が少ないのが現状です。今後は知識を持った方を増やしていき、自治会で自主防災組織を立ち上げる際に協力をいただければ良いのではと考えています。

問 避難勧告、避難指示を、具体的にどのような形で住民に通知するのか教えていただきたい。

答 基本的に、防災無線を利用してお知らせします。また市の広報車を利用して、市内を巡回しながら避難勧告、避難指示をお知らせします。

直近の防災行政無線を電話やメールで確認することが出来るため、登録しておくことにより、確認ができると思います。

また、市で避難準備情報や、避難勧告を発令した場合、テレビのテロップに表示されます。

20時10分終了